

研修2 年間指導計画を立案する

○研修のねらい

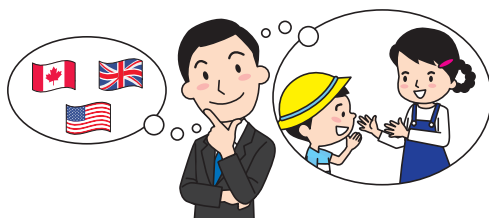
「研修2」では、第3・4学年の外国語活動及び第5・6学年の外国語科の年間指導計画を立案する際の考え方について学びます。ここでは、「小学校学習指導要領解説 外国語編」の指導計画の作成上の配慮事項を参考として、コミュニケーションの場面やコミュニケーションの働き等について学び、活動を整理・配列します。

年間指導計画作成上の配慮事項

- 新学習指導要領への移行期間中は、「Hi, friends!」や、平成30年度に配布される新教材「We Can!」を使用するなどして適切に指導すること。
- 年間指導計画の作成に当たっては、外国語教育において育成を目指す三つの資質・能力（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を踏まえ、小・中・高等学校を通じた目標の一貫性及び指導内容等の系統性に留意すること。
- 移行期間における学習内容や、短時間学習を実施する際の留意点については、平成29年9月21日に開催された新教材説明会配布資料を参照すること。
- コミュニケーションの場面（挨拶、買物、地域の行事等）やコミュニケーションの働き（気持ちを伝える、事実・情報を伝えるなど）を参考に、活動を整理・配列し、年間指導計画を作成すること。
- 完成した年間指導計画は、学校行事や他教科等の学習内容、児童の発達の段階や興味・関心に応じて修正が必要であり、今後、指導時数の増加に伴い、外国語活動・外国語科だけではなく、小学校の教育課程全体を見通したカリキュラム・マネジメントが必要であるということ（研修3 P26、27参照）。

単元配列のポイント

- 外国語学習の学びの特徴の一つとして、繰り返し何度も語彙や表現に触れることが効果的であることが挙げられる。新出の語彙や表現ばかり取り扱うのではなく、活動内容を変化させたり、表現を組み合わせてたり増やしたりする。そして、後出の他単元や次の学年における意味ある文脈の中で、繰り返し出合わせることができるような年間を通した単元配列の工夫を行うこと。
- 学校行事、地域の特色ある行事、他教科等の学習内容と関連付けた単元においては、指導時期等を考慮しながら単元配列を行うこと。



○言語活動及び言語の働きに関する事項を踏まえる

年間指導計画を立てる際は、「小学校学習指導要領 第2章 第10節 外国語 2 (3)言語活動及び言語の働きに関する事項」を踏まえます。ここでは、「言語の働きに関する事項」を例とします。

【言語の働きに関する事項】

ア 言語の使用場面の例

| | |
|---------------------|---------------------------------|
| (ア) 児童の身近な暮らしに関わる場面 | ○家庭での生活・学校での学習や活動・地域の行事 等 |
| (イ) 特有の表現がよく使われる場面 | ○挨拶・ <u>自己紹介</u> ・買物・食事・道案内・旅行等 |

イ 言語の働きの例

| | |
|-----------------------|---------------------------------|
| (ア) コミュニケーションを円滑にする働き | ○挨拶をする・呼び掛ける・相づちを打つ・聞き直す・繰り返す 等 |
| (イ) 気持ちを伝える働き | ○礼を言う・褒める・謝る 等 |
| (ウ) 事実・情報を伝える働き | ○説明する・報告する・発表する 等 |
| (エ) 考えや意図を伝える働き | ○申し出る・意見を言う・賛成する・承諾する・断る 等 |
| (オ) 相手の行動を促す働き | ○質問する・依頼する・命令する 等 |

さらに、他教科や学校行事の年間指導計画一覧を見ながら、外国語科においてどのような活動ができるかを構想して、単元を設定し、年間指導計画を作成します。

○年間指導計画例（一部）

※都や区市町村独自の教材等をどこで活用するか、計画に位置付けます。

| 第5学年 | 4月 | 5月 | 6月 |
|------|--|--|---|
| 外国語科 | ○ <u>自己紹介しよう</u> | | |
| 目標 | ○自分の名前や好きな物、欲しい物等を含めて簡単な <u>自己紹介</u> をしようとする。 | ①他教科や学校行事との <u>関連</u> を踏まえ、どのような活動ができるかを考え、単元を設定します。 | ②本校の外国語科の学年目標を踏まえて、単元の目標を設定します。 |
| 言語活動 | ○自己紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取り、必要な情報を得る。 ○好きな物、欲しい物等を含めて <u>自己紹介</u> をする。 ○活字体の文字で自分の名前を書いたり、その綴りを言ったりする。 | ③単元の目標を踏まえて、言語活動を設定します。 ○文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ○地図やポスター等にある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。 | ○活字体の文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ○一日の生活に関する簡単な語句を書き写す。 |
| | 関連 | | |
| 国語科 | ○インタビューをして紹介しよう ○場面の様子を想像しながら読もう | ○古文を読んでみよう ○新聞を読もう ○筆者の考えを読み取ろう | ○漢字の不思議を探そう ○取材して報告しよう ○敬語を使おう |
| 学校行事 | ○始業式 ○1年生を迎える会 | ○全校遠足 ○運動会 | ○移動教室 |

研修2 年間指導計画を立案する

○事前に準備する物

- ・ 小学校学習指導要領解説 外国語活動編（文部科学省 平成29年7月）
- ・ 小学校学習指導要領解説 外国語編（文部科学省 平成29年7月）
- ・ 自校の他教科や学校行事の年間指導計画一覧
- ・ We Can! の年間指導計画
- ・ Welcome to Tokyo Elementary 等
- ・ 区市町村独自の教材や資料
- ・ 研修2「解説編」（P22、23）
- ・ 演習シート（P82、83）

○研修の留意点

- ・ 年間指導計画については、実践を通して今後の指導や次年度に向けた改善を行うこと。
- ・ 児童の実態や、学校で設定した外国語活動・外国語科の時数に合わせて、よりよい年間指導計画を作成すること。

○研修例（45分）

| 時間 | 研修項目 | 研修内容 | 使用する物 |
|-----|-------------------------|---|---|
| 10分 | ○年間指導計画立案におけるポイントを知ること。 | ○ウォームアップを行う。 ○研修のめあてを伝える。 ○小学校学習指導要領解説の「指導計画の作成上の配慮事項」を読み、全体で確認する。 ○P22「単元配列のポイント」について説明し、年間指導計画を立案する際の留意点を押さえる。 | ・ 本書P22、23 ・ 小学校学習指導要領解説 外国語活動編 外国語編 |
| 20分 | ○年間指導計画を立案すること。 | ○P23「言語活動及び言語の働きに関する事項」を踏まえ、自校の他教科や学校行事の年間計画一覧を基に年間指導計画を立案する。 【活動例】 ・ グループで考える（5グループ程度） | ・ 演習シート P82、83 ・ 自校の他教科や学校行事の年間指導計画一覧 ・ We Can! の年間指導計画 |

| | | | |
|-----|-------------------------------|---|---|
| | | ○グループごとに、話し合った年間指導計画を2分程度で紹介する。 | |
| 12分 | ○教科書以外の教材を年間指導計画に位置付ける例を知ること。 | ○ Welcome to Tokyo Elementary 等や区市町村独自の教材をどこに位置付けられるかを説明する。 | ・ Welcome to Tokyo Elementary 等や区市町村独自の教材 |
| 3分 | ○研修を振り返ること。 | ○研修で学んだこと等を共有する。 | |

Welcome to Tokyo の効果的な活用

コラム

Welcome to Tokyoとは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、東京の公立学校の児童・生徒が東京や日本のことを理解し、英語で発信できる力を育てる必要があることを踏まえ、東京都教育委員会が作成した独自教材です。教材に付属している動画DVDを併せて使うことで、外国人とのコミュニケーションの場면을体験的に学習できるようになっています。

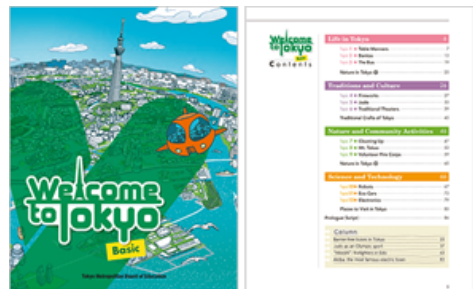
Welcome to Tokyo Elementaryの対象は、主に小学校第5・6学年です。平成30年3月までに第3・4学年対象のWelcome to Tokyo Beginnerが配布される予定です。言語場面によって、関連する映像場면을児童に見せることにより、相手意識が高まり、現実起こり得るコミュニケーションの場면을想定しながら言語活動に取り組むことができます。

授業で取り組む前に、動画DVDを実際に視聴し、映像等を通した外国人とのコミュニケーションを疑似体験しておきます。研修でも、児童と同じ体験をしてみるとよいです。

Welcome to Tokyo（東京都教育委員会 平成28年3月）



Elementary（初級編）対象：小学校第5・6学年



Basic（基礎編）対象：中学生